MITSUBISHI

三菱ブルーレイディスクレコーダー

形名

DVR-BV530

このガイドでは、ご購入後の準備完了後、すぐにご使用いただく方のために、最低限の基本操作について説明しています。
くわしい説明については、取扱説明書のそれぞれの説明ページをごらんください。

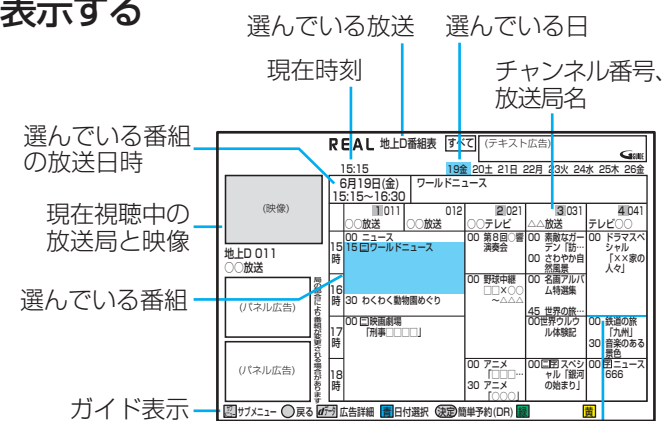
なお、本機を正しく安全にお使いいただくため、お使いになる前に必ず取扱説明書の「安全上のご注意」をお読みください。

画面表示の細部や説明文、表現、ガイド、メッセージの表示位置などは、本書と製品で異なることがあります。
本書で例として記載している各画面の内容は説明用です。
p. は取扱説明書の参照ページです。

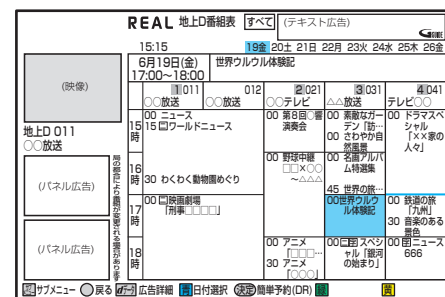
1. 番組をHDD(ハードディスク)に録画予約してみましょう p.79

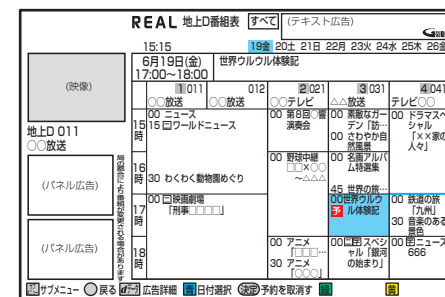
(例) 現在、2009年6月19日(金)午後3時15分。
地上デジタル放送の番組を番組表からHDDに簡単予約するとき。

準備
- 本機の電源を入れる、テレビの電源を入れる
- テレビの入力切換で、テレビの入力を本機が接続されている入力に切り換える

1 番組表を表示する

別の放送の番組表を表示するときは
地上デジタル BS (CS 外部は上カバー内にあります)を押すと、その放送の番組表に切り換わります。

青線で表示されているところには、短い番組があります。
選ぶと、番組が表示されます。

2 予約する番組を選ぶ

別の日の番組表を見るときは
 青 を押して"日付選択"画面を表示し、で日付を選んで決定します。

3 決定 (または 赤)を押す

- 予約が確定し、選んだ番組に 予 マークが表示されます。
- 録画モードは、その番組を予約するときに画面下の 決定 のガイドに表示されていた録画モードで予約されます。
- 予約が重なっているときは、確認メッセージが表示されます。 p.79

4 予約の設定が終わったら、通常画面に戻す

戻る

本機を使用しないときは、電源を切ることをおすすめします。(電源が入った状態でも予約の録画は実行されます。)

録画予約した番組が始まる日時になると、自動的に録画が始まります。
番組が終わると、自動的に録画が終了します。

予約を取り消すときは p.89
左の手順 2 のときに 予 マークが付いている番組を選び、決定(または 赤)を押すと、その番組の予約が取り消されます。
(録画中の予約は取り消せません。)

2. HDDに録った番組を見てみましょう(再生) p.95

(例) 左の 1. で録った番組を見るとき

準備
- 本機の電源を入れる、テレビの電源を入れる
- テレビの入力切換で、テレビの入力を本機が接続されている入力に切り換える

1 録画リスト(の一覧)画面を表示する

2 見たい番組を選ぶ

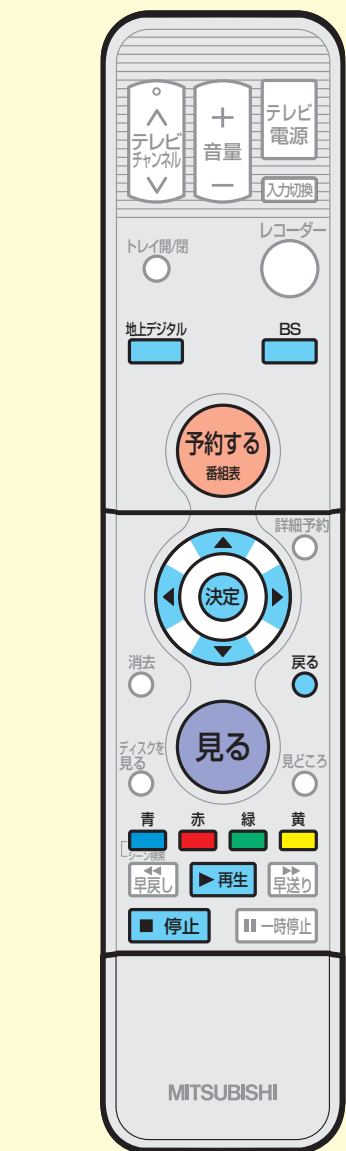
- の一覧から" "の付いた番組を選んだときは、番組部分(またはCM部分)だけを見ることができます。(番組部分/CM部分再生)

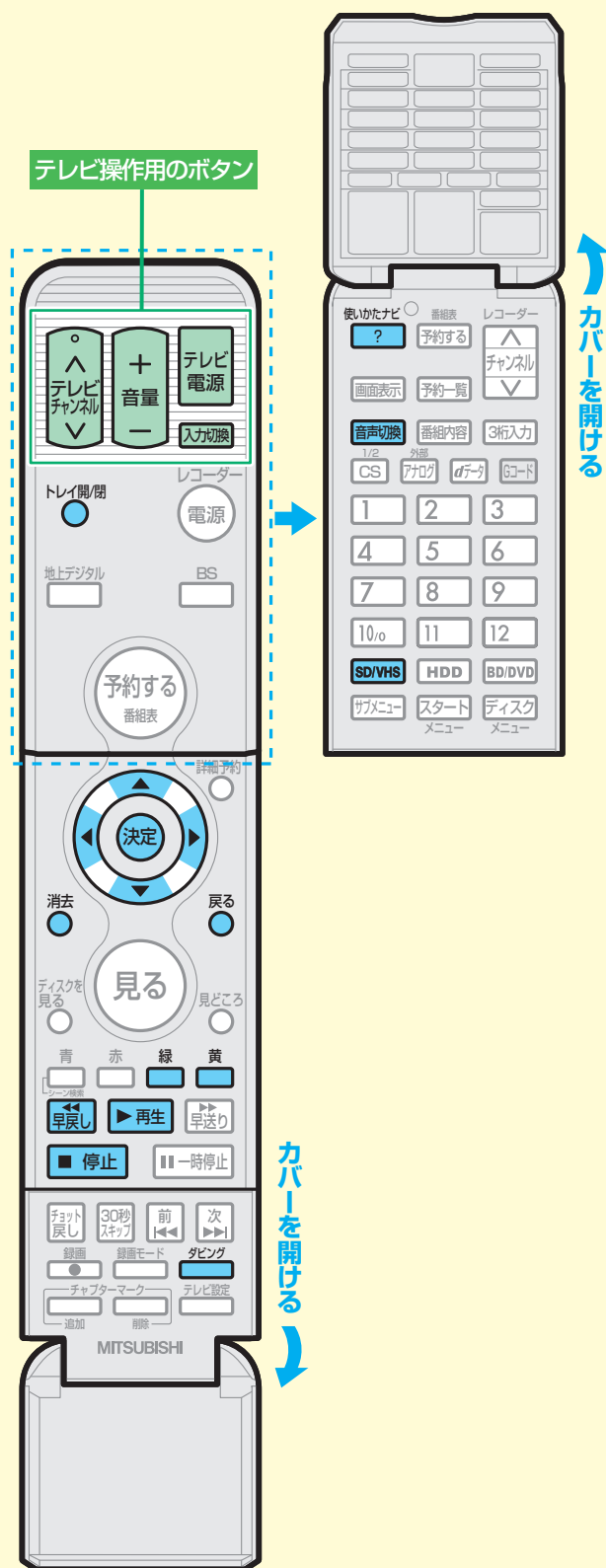
番組全部を見るときや、 の一覧では表示されない番組を見るときは
を押して、 すべて の一覧を表示します。

別のページを見るときは
緑 (前ページ)、黄 (次ページ)を押します。

3 ▶再生 を押して、再生を始める

- 番組の先頭から再生が始まります。
前回の停止位置を記憶しているときは、停止位置(続き)から再生が始まります。

4 再生を終わるときは、 ■停止 を押す

前の画面に戻るときは、 戻る を押す

A E4P00JD/1VMN28217★★★★★

本機のリモコンでテレビを操作する場合は p.42

本機のリモコンで、テレビの電源、チャンネル、音量、入力切換の操作ができます。
(1〜12ボタンでテレビのチャンネルを切り換えることはできません。)

- 当社(三菱)以外のテレビをお使いの場合は、テレビメーカーの設定を行ってください。p.42
- テレビによっては、操作できない場合があります。

3. 録った番組をディスクに残すときは(ダビング) p.132

(例) おもて面の 2. で再生中の番組を、ブルーレイディスクにダビングするとき

準備
- 本機の電源を入れる、テレビの電源を入れる
- テレビの入力切換で、テレビの入力を本機が接続されている入力に切り換える

1 本機でダビングが可能なブルーレイディスクを入れる

1. 本体のディスクトレイを開ける　トレイ開/閉
2. ディスクのラベル面を上にして、ディスクトレイの上に置く
3. ディスクトレイを閉める　トレイ開/閉

新品(未使用)のディスクを入れたときは、このあと初期化(フォーマット)画面が表示されます。p.68
で"フォーマットする"を選び、決定してください。

- ブルーレイディスクには、BD-RE(繰り返し録画用)とBD-R(1回録画用)があります。p.64

2 おもて面の 2. の手順1〜3を行って、ダビングする番組を再生する

3 再生中に、ダビング を押す

4 確認メッセージの内容を確認し、それでよければ"はい"を選び、決定する

- 手間なしダビングが始まり、再生中の番組が番組の最初から終わりまでダビングされます。
- ダビング中は、本体表示部に"DUB"が表示されます。

「1回だけ録画可能」番組、「ダビング10(コピー9回+ムーブ1回)」番組について

- 「1回だけ録画可能」番組をダビングする場合は、「ムーブ(移動)」となり、ダビング後にHDDの元の番組は削除されます。
- 「ダビング10(コピー9回+ムーブ1回)」番組をダビングする場合は、9回目までは「コピー」となり、ダビング後もHDDの元の番組はそのまま残ります。10回目は「ムーブ(移動)」となり、ダビング後にHDDの元の番組は削除されます。

くわしくは、p.71 をごらんください。

4. 不要になった番組を削除するときは p.118

(例) 見終わって不要な番組を削除するとき

準備
- 本機の電源を入れる、テレビの電源を入れる
- テレビの入力切換で、テレビの入力を本機が接続されている入力に切り換える

1 おもて面の 2. の手順1、2を行って、削除する番組を選ぶ

- 一度削除された番組は、元に戻せません。
録画内容をよく確認してから削除してください。

2 消去 を押す

3 確認メッセージの"はい"を選び、決定する

- 番組が削除されます。

4 削除が終わったら、通常画面に戻す

戻る

- 番組を削除したあとの残量時間は → p.118

REALINK(リアリンク)機能を使う場合は p.160

REALINK

当社製のREALINK(リアリンク)対応テレビとHDMIで接続すると、REALINK機能を使うことができます。

- 当社製REALINK対応テレビのリモコンで、本機の再生/早送り/早戻しや、メディアの切り換えなどの操作ができます。
- 番組ポーズ、一発録画をすることができます。
- テレビの番組表を使って、本機のHDDに直接録画予約することができます。
- テレビの電源入/切に連動して、本機の電源も入/切させることができます。(テレビ電源オン連動/テレビ電源オフ連動)
- 本機で再生を始めたり、本機の番組表や予約の画面などを表示すると、テレビの入力切換が自動的に本機を接続した入力に切り換わります。
- 本機の電源を切ると、テレビの電源も連動して切ることができます。

テープを見るときは(テープの再生) p.112

準備
- 本機の電源を入れる、テレビの電源を入れる
- テレビの入力切換で、テレビの入力を本機が接続されている入力に切り換える

1 テープを入れる

- 本機の電源が入のときに、レンタルテープなどのツメの折れたテープを入れた場合は、自動的にテープの再生が始まります。

2 SD/VHS を押して、操作先をVHSに切り換える

- 押すたびに、SDとVHSが交互に切り換わります。(HDD、BD/DVDに録画中は、切り換えできません。)

3 ▶再生 を押して、再生を始める

- 日本語と英語が混ざって聞こえるときは、音声切換を押して聞きたい音声に切り換えてください。

4 再生を終わるときは、■停止 を押す

- 再生が終わったテープを巻き戻すときは、停止中に 早戻し を押します。

5 再生が終わってテープを取り出すときは、トレイ開/閉 を押す

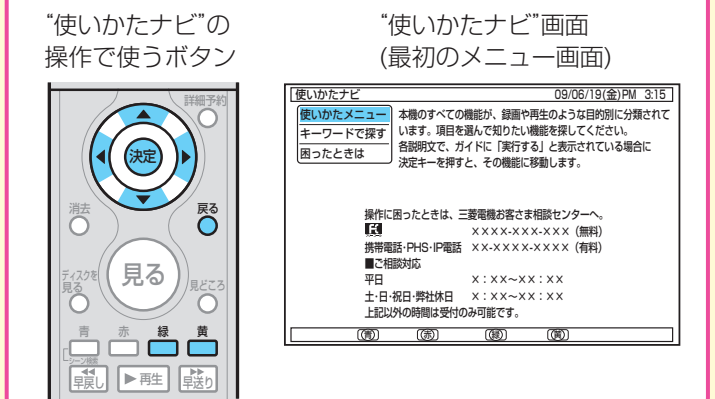
- リモコンで操作する場合は、停止中に操作先がVHSになっているときに、操作してください。

※ 本機では、テープに直接録画したり録画予約することはできません。再生とダビングだけすることができます。
ダビングについては、p.138〜140 をごらんください。

やりたいことを探したり、困ったときに調べたい場合は(使いかたナビ) p.172

操作で困ったときやわからないことがあったときなどに、使いかたナビ ? を押して"使いかたナビ"画面を表示させると、操作方法や対処方法、解説などをテレビ画面で確認することができます。

"使いかたナビ"の操作で使うボタン

"使いかたナビ"画面(最初のメニュー画面)

取扱説明書を読んでもどうしても使いかたがわからないときや、故障かな?と思ったときは

三菱電機お客さま相談センター	フリーコール 0120-139-365 (無料)
携帯電話・PHS・IP電話の場合	03-3414-9655 (有料)
FAX	03-3413-4049 (有料)

ご相談対応	平日	9:00〜19:00	左記以外の時間は
	土・日・祝・弊社休日	9:00〜17:00	受付のみ可能です